たちばな

水谷山 寶清寺

お盆（七月十三日～十六日）

お施餓鬼法要
七月十四日（火）
十一時より
於当山本堂

お盆の由来は、「仏説盂蘭盆経」に、釈尊の弟子目連尊者が餓鬼道に落ちて苦しんでいる母を救った話による。そして、お盆には七世の先祖や父母達が苦しむことなく成仏するようにと、子孫である私達が祈る報恩供養の行事としての意味がある。

お施餓鬼の由来は「仏説焔口餓鬼陀羅尼経」に、釈尊の弟子阿難尊者が餓鬼道で苦しむ鬼を供養することで、自分自身が救われた話による。そして、供養に恵まれない様々な霊を供養することにより、私達が、生きている、生かされていることに感謝する行事としての意味があります。お盆には墓参しご先祖の霊をお慰め致しましょう。尚、お施餓鬼法要終了後、お斎（粗飯）が用意してありますので、ご供養のため召し上がってから、墓参されることをお進め致します。

宝清寺客殿 完成間近

平成十年八月完成引き渡し予定

平成八年十月に宝清寺東側造成工事が完成し、引き続いて宝清寺橘会館の建設に着工致しました。お檀家の皆様には数年にわたる工事期間中、大変ご不便をおかけいたしましたが、今年八月中旬に引渡しの予定で工事が進んでいます。この事業は平成十二年が宗祖日蓮上人立経開宗七五〇年に当たりますが、その記念事業として、また、平成二年九月二十三日に遷化した当山二十五世師父日延上人七回忌の供養として発願し、平成七年一月の総代会で検討し、実現に向かって頑張ろうと進めてまいりました。今しばらくの間、ご協力をお願い致します。落慶式は平成十年九月四日（金）を予定しております。落慶式のご案内は改めて、お檀家・準檀家・橘墓苑にお墓をお持ちの他宗の方々すべてに 郵送致します。今までは日蓮宗の寺院である関係から、他宗の方は宝清寺の施設は休憩所以外利用できず、ご不便をおかけしておりましたが橘会館は会館を利用したい方すべてが利用できるよう、また、利用し易いよう検討しています。後日お知らせ致します。

「仏事と香り」

仏前を清めたり祈りをこめるときの儀式にもちいられていた。時がたつにしたがって仏前への供香が薫物として朝廷などで使用され、人々の暮らしにうるおいを添えるようになっていった。その後、香合に発展し、風雅な「香道」のはじまりとなった。葬儀などの時、香典を差し上げますが、もともとは「香奠」と書いた。奠は供える事を意味する文字ですから、香典とは香を供える意味になる。今は、香典という意味ですから 銭を差し上げることを意味する。香田と典は本来の意味は違うが、今では同じ意味に使われている。日本では日常の先祖供養やお墓参りには焼香やお線の供養が行われる。これは日本仏教で大切にされている中陰の思想にもとづくものと思われる。私たちがこの世に生まれたときを生有とし、生命を維持しつづけている間を本有という。そして、死を迎えた死の瞬間を死有という。死有から四十九日の間は中有とか中陰といい、次の生を受けるまでの間と考える。中有の間、新しい仏さまは香を食べ物にしていると考えた。そこで、香や線香を焚いて新しい仏の供養を続ける。仏事供養に香を欠くことができないのは、この中陰信仰によるものと思われる。

日本に香が伝えられたのは百済から仏像と経典が伝えられたときに、仏教の儀式になくてはならないものとして伝えられたものと思われる。香はもともと

管理料の納入は 指定の振り込み用紙をご利用下さい

お塔婆の申し込み

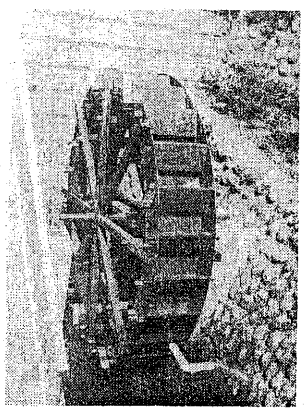
同封のお塔婆申し込み用葉書は、料金受取り人払いになっています。この葉書は投函してから到着まで四日から五日係りますので、なるべく早めの投函をお願い致します。

「宝清寺の寺標」

寺報「たちばな」創刊以来今回で、第二十五号の発行になります。そこで、この号から体裁を改善致しました。宝清寺の造成工事及び東京都の道路工事が完成した記念に宝清寺の寺標を郷土書家として著名な田之倉周之先生に書いて頂きました。その書を題字「たちばな」の下に入れてみました。この寺標の書体は、「素朴で誰にでも親しんで頂ける寺」を目標にしている住職として満足しています。

「宝清寺の水車」

平成十年五月二十二日発行
西多摩新聞より転載



花ごよみ

◆コットン、コットンと回る水車。しかし、ちょいと違うのは 鉄で出来た水車。あきる野市小川の宝清寺（石井前琮住職）にあって、道行く人の評判になっている。

◆直径二・五㍍、重さ約一㌧の水車は、市内の花火会社の敷地内にあり 廃棄処分にする予定だったものを寺が譲り受けた。寺の関係者がサビを落とし、ペンキを塗った。崖下から流れ出る湧き水で水車は勢いよく回り、コイも泳いでいる。

◆石井住職は「素朴で親しみやすい寺にしたい。古いものを大事にしたいという気持ちを形に表したかった」と水車のリニューアルを話す。水車脇には自然石の門柱やシダレザクラもあり、夏の句会や歌会には絶好の場所となりそうだ。

発行 寶清寺　住所 東京都あきる野市小川101番地　電話 042-558-2663　FAX 042-558-2693